



## 自然を生かした 総合学習が自慢!

飯野川第二小学校

今回は、飯野川第二小学校を紹介します。

飯野川第二小学校は、明治6（1873）年に開校した中島小学校と血貝小学校（両校は、明治22年に飯野川小学校の分校場となる）、明治20年に開設された血貝小学校馬鞍分校場の3つの分校場が昭和12年に統合され飯野川小学校血貝分校となりましたが、昭和25年には独立校となり現在に至っています。実に100年以上の歴史と伝統を誇る学校です。

近くには中島川、血貝川が流れ、背後に大峰山を抱えるなど、自然環境に恵まれています。現在は、6学級79人の児童数で、3年生以上の児童が対象となる若草タイム（総合的な学習の時間）が自慢です。

昨年は3年生が「ふるさと」のたからものをテーマに、道の駅「上品の郷」を訪れたり、地域の特産品の「セリ」について調べたりしました。4年生は、「血貝たんけん」をテーマに血貝



▲北上川の河口でジャンプ! 4年「血貝たんけん」

マに血貝川の生き物調査、源流探検、血貝川・北上川の河口探検などを行いました。5年生は、一わ

たしたちの食生活とお米」をテーマに、保護者の方に田んぼを一年間借りて、田植えから稲刈りまでの一連の作業を行いました。6年生は、「自分の生き方を考えよう」というテーマで、地域にある史跡の調査や修学旅行で訪れた盛岡の歴史や宮沢賢治について調べたり、仙台の戦災復興記念館を訪れ、戦争と平和について学びました。このような過去の出来事や人々の考えから、未来の自分や地域を想像し、自分の生き方について考えました。

2月上旬には、その成果を発表する「若草タイム発表会」を行い、協力してくれた方や地域の皆さんを学校に招き、感謝の気持ちを込めて発表をしました。

今年も昨年と同じテーマの下、自然を生かした総合学習に一生懸命取り組んでいます。

また、冬になると中島川に百羽近くの白鳥が飛来するので、観察を兼ねて餌づけを行っています。そのほかにも、さまざまな鳥が生息していることから、県の愛鳥モデル推進校（2008年度から2019年）に指定されました。

先生方は、「子ども達は、地域の恵まれた自然の中で伸び伸びと育っています。保護者の方也非常に協力的です。これらの良さを生かして、自分の進むべき道を開拓していくたくましさをも身に付けてほしい」と話していました。

## にぎやか家族 ③⑥

渡波地区塩富町



写真左から、こころさん、利樹くん、名犬ノンノ、凜汰郎くん

佐藤	利樹	くん (11歳)	サッカー選手
	こころ	さん (7歳)	ケーキ屋さん
	凜汰郎	くん (4歳)	スーパーヒーロー!?

〈両親から〉

みんな仲良く元気に!

## 今月の表紙から

梨は、日本で栽培される果物の中でも歴史が古く、日本書紀にも栽培の記載があり、弥生時代にはすでに食べられていたそうです。現在のようないびき味が強く果肉のやわらかい梨は明治以降に品種改良されたものです。梨は、成分の約90%が水分で、栄養成分としては、カリウムや食物繊維などが含まれています。カリウムは、むくみを解消したり、摂りすぎた塩分を排せつしたり、夏バテにも効果があるとされています。

及川さんは「この地区にはまだ何件か梨の木を持っていますが、出荷しているのは数少なくなりました。我が家の梨は、5月に亡くなった父（吉兵衛さん）が、これまで大切に育ててきました。ほかに、リンゴやブドウの木があり、父は親せきの手でも運などが喜んでくれるのがうれしかったですよ。」と話していました。



及川 昇 さん  
(大街道南地区)



# サークル仲間

なかま ③⑥

## 「ふれあい弁当」をお届けします！

### 雄勝ボランティア友の会

今回は、『雄勝ボランティア友の会』の皆さんを紹介致します。



「雄勝ボランティア友の会」は、雄勝地区内に住む一人暮らしのお年寄りの方々に「配食サービス」を行う団体として平成15年8月に結成しました。設立当時の会員は17人でしたが、現在は29人で、月1回100食のお弁当作りをしています。季節ごとの行事や祝い事も考慮した旬の食材を使い、栄養のバランスや食べや



すさを考えて献立作りが始まり、すべて手作りでお弁当を作ります。そして、出来上がったら、温かいお弁当に「明るい笑顔」と「一声」を添えてお届けします。

これからの目標は、利用者の方からの要望の一つで、月2回の配食サービスができるようになることです。また、地区の障害者地域活動支援センターや他団体との交流なども行っていききたいと思っています。

今日は、おほぎを中心とした秋のお彼岸メニューです。

これからも心待ちにしているお年寄りの方々の顔を思い浮かべながら、心を込めて「ふれあい弁当」を作り、お届けします。

# 長寿のひけつ



②⑨

## すべてわすらうことなかれ

### 渡邊龍夫さん(桃生町太田) 80歳

今回は、いろいろな趣味をもっている渡邊龍夫さんを紹介致します。

桃生町太田にお住まいの渡邊龍夫さんは、昭和3(1928)年に5人兄弟の末っ子として生まれました。海軍の少年兵として出兵し、終戦後は、石巻の商店に勤めていました。しかし、東京へ買い出しに行ったとき、警視庁の警察官募集のポスターが目にとまったのがきっかけで、警察官となり35年勤めました。その後、桃生町太田へ移住し、警察官時代に取得した柔道整復師の資格をもって整骨院を開院しまし

た。

渡邊さんは、パークゴルフなどのスポーツや俳句などいろいろな趣味をもち、毎日退屈しないようにしています。

長寿のひけつは、3度の食事は必ず取り、焼き魚、味噌汁、中心の素食とし、食へ過ぎないようにしています。

精神面では「すべてわすらうことなかれ」を心掛けています。



## 情報をお寄せください

「みんなの広場」は市民の皆さんが参加して、みんなで作るコーナーです。

毎月、次のような方々を紹介していますので、情報をお寄せください。(自薦、他薦を問いません)

- 全国大会などで実績のある元気で明るい若者
- 音楽、スポーツ、ボランティアなど活発なサークル活動をしている団体
- 元気な高齢者
- 仲の良い3人以上の兄弟姉妹

☎ 広報広聴課 (内線211)